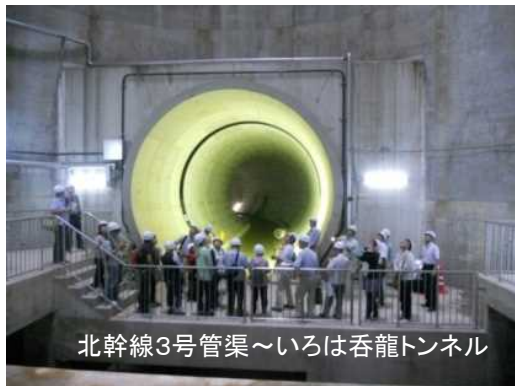
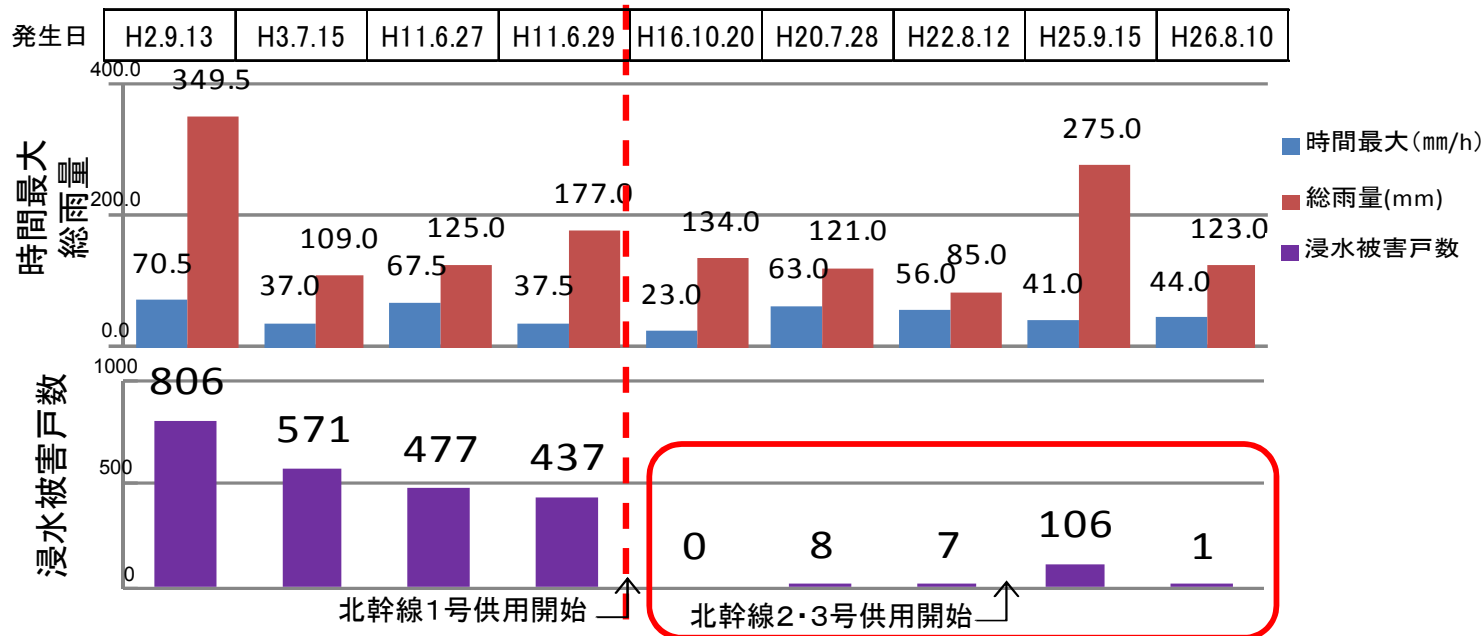


い^{どんりゅう}ろは呑龍トンネルによる浸水被害軽減効果

- 平成7年から京都市、向日市、長岡京市に排水区域を持つ雨水貯留施設(い^{どんりゅう}ろは呑龍トンネル)の整備に着手し、貯留量107,000m³の北幹線管渠を整備。
- 平成26年8月豪雨(台風11号)において、満管まで貯留し、過去の同規模程度の豪雨に対し浸水被害を大幅に軽減。

整備効果(近年の主な浸水被害戸数)



施設供用後は、過去の同規模の豪雨に対し、浸水被害を大幅に軽減。

